

令和4年度第2回 独立行政法人国立重度知的障害者
総合施設のぞみの園運営懇談会議事要旨

令和5年3月13日(月)
10:30~12:00
田中資料センター

I 開 会

II 理事長挨拶

III 議 事

1. 第5期中期計画(案)について
2. 令和5年度予算(案)について
3. 入所利用者の状況
4. 業務の取組状況と今後の予定
 - (1) 新型コロナウイルス感染症への対応(令和4年度下半期)
 - (2) 令和4年度実務研修等について
 - (3) ターミナルケアについて
 - (4) 第9次寮再編成計画について
 - (5) 日中支援型グループホームについて
5. 事故等の報告について

V 閉 会

【議事に対する主な質疑(○:委員、●:のぞみの園)】

1. 第5期中期計画(案)について

- :業務運営にかかる経費は令和9年度末までに15%以上節減するとされているが、例えば、積極的な介護に当たっての自動化機械化等々、入所者のサービス低下がないような形での経費節減であると考えて良いのか
- :自然減が避けられない我々の法人の環境であるが、その自然減を無理ない範囲内で反映させることによって、実現可能な数字だと考えている。介護の自動化・機械化等については、無理のない範囲内で可能なものについて、これからの法人の取り組む方向ではないかと考えている。
- :第5期での新しい目標はあるか。
- :医療的ケアが必要となったことにより施設を退所せざるをえなくなった方を拡大し受入れること。また、ターミナルケアの取り組みは開始しているが、第5期の中で明確に謳ったということが新しい目標。

2. 令和5年度予算案について

- :職員数が15名減については、定年退職以外の方も見込んでいる数字なのか。
- :定年退職以外の退職は見込んでいない。
- :新たな正雇用での採用はどの程度考えているのか。
- :新たな正雇用としては、途中退職された者の補充採用と考えている。

3. 入所利用者の状況について

○：1名の利用者がグループホームからのぞみの園に戻った理由は何か。

●：戻られた方については、医療的ケアが継続的に必要になってしまい、グループホームでは対応が非常に難しいということで、ご家族のご希望も含めて戻っていただいた。

4. 業務の取組状況と今後の予定

(3) ターミナルケアについて

○：高齢化においてターミナルケアを考えなければいけないが、職員へのフォローは何か行っているか。

●：心のケアは今後重要になっていくので、心理師に携わってもらい、心のケアを進めていければと思っている。

(5) 日中支援型グループホームについて

○：現時点で何名ぐらいの方が利用する予定か。

●：同意を得ているのは20名。1期目として9名、プラス1名の方について体験を重ねながら入居を目指している。

○：職員は、のぞみの園から移っていくのか、それとも新規採用なのか。

●：のぞみの園から職員が移っていく。

5. 事故等の報告について

○：誤与薬は職員が与えるものだと思う。なぜ毎回起きるのか。職員の教育等が必要ではないか。

●：ご指摘のとおり。誤与薬はまさに職員の人災であり100%職員の責任であって、事故の中でも重大。今回の4件中2件については、コロナの対応で、残念ながら職員が足りなくなり職員を入れ替えざるを得なくなり、その際の連絡不徹底という場で起きてしまった。この件に関しては、管理者が厳しく注意した。